

第7回

加西能

Kasai Noh

2023年

5/4 木祝

加西市民会館文化ホール

鉄道 北条鉄道 北条町駅下車
徒歩 約10分

車 中国自動車道
加西IC 約5分

当公演は字幕解説
「能サポ」を
ご利用いただけます。



*お手持ちのスマートフォン、タブレットに
舞台上演に合わせた字幕解説が自動的に表
示されます(日本語、英語・能狂言ともに)。
*事前にQRコードから「G・マーク」アプ
リ(無料)をダウンロードしてください。
*当日ホワイエでのご案内もいたします。
*公演中は必ず機内モ
ードとマナーモードに
してご利用ください。
*周りのお客様へ迷惑
にならないようご配慮
ください。



<http://www.g-marcapp.com/>

チケット発売 3月1日(水)

全席指定席・先着順
前売券(税込)／一般 3,500円
高校生以下 500円

※当日券は一般のみ500円増。
※4歳未満無料(席なし)。
※席に座る場合はチケットが必要。

チケット販売に関するお問合せ
■加西市民会館
加西市北条町古坂1-1
☎0790-43-0160

チケット販売所

加西市民会館	0790-43-0160
地域交流センター(アスティアかい3階)	0790-42-0106
イオン加西北条店(サービスカウンター)	0790-45-3500
西村書店	0790-42-5008
ローソンチケット(Lコード:53585)	https://l-tike.com
チケットぴあ(Pコード:517-326)	https://t.pia.jp

・ご来場の際にはマスク着用のご協力をお
願いたします。
・当日発熱などの体調不良がある場合には
観覧をお控えいただきますようお願いい
たします。

主催 播磨国風土記の里加西・
能狂言プロジェクト実行委員会
後援 加西市教育委員会
協力 (株)ケイミックスパブリックビジネス
NPO法人ねひめカレッジ
(加西市国際交流協会)

公演内容に関するお問合せ

播磨国風土記の里加西・
能狂言プロジェクト実行委員会
(加西市文化・観光・スポーツ課内)
加西市北条町横尾1000
☎0790-42-8773

播磨国風土記の里 加西

検索

一部 14:30~15:15 (開場 14:00)

鑑賞無料・全席自由

新作狂言

「根日女 ねひめ」

出演/加西市こども狂言塾

New Kyogen "Nehime"

Kasai city Kodomo Kyogen Juku

一部を観劇された方には
お茶・お茶請けを
プレゼントします

幕間 15:15~16:15

「播磨国風土記1300年祭」(2015年)にて初公開
した野村萬斎らによる新作狂言「根日女」の上映
(コミセン2階視聴覚室)

加西市の魅力を展示(コミセン2階ギャラリー)

二部 16:15~19:00 (受付 15:45)

舞囃子

「唐船 とうせん」

出演/大槻文蔵(人間国宝)

Maibayashi "Tosen"

Bunzo Ohtsuki

狂言

「蚊相撲 かずもう」

出演/野村萬斎、高野和憲ほか

Kyogen "Kazumo"

Mansai Nomura

能

「三山 みつやま」

出演/観世鏡之丞ほか

Noh "Mitsuyama"

Tetsunojo Kanze



第7回 加西能

5月4日(木・祝)

一部 開演14時30分(無料)
二部 開演16時15分

幕間 15時15分～16時15分

「播磨国風土記」で上演した
「根日女」の上映(コミセン2階視聴覚室)

加西市の魅力を展示(コミセン2階ギャラリー)



新作狂言「根日女」のみ
鑑賞無料・全席自由

一部 14時30分～15時15分(開場14時)

新作狂言 根日女(ねひめ)

河合祥二郎・作 野村萬斎・演技指導
出演/加西市こども狂言塾

ふるさと加西に伝わる

「播磨国風土記」の物語を

加西市こども狂言塾の皆さんが
熱演します

あらすじ

加西市玉丘古墳には、1500年も前の二人の皇子「おけ」「をけ」と、霊力を持つ美しい娘「根日女」の悲しい恋の物語が伝わります。
皇位継承争いから、次期天皇とされていた父を雄略天皇に殺害された二人の皇子は、播磨の国に隠れ住み、牛飼いと25年が過ぎました。
ある日、主人の家の新築祝いの宴で舞を所望された二人は、ようやく身分を明かします。都では皇子たちの叔母が皇位を守っていました。後継ぎはおらず、「おけ」と「をけ」の発見は大きな喜びとなりました。
しかしそれは、皇子たちと根日女との悲しい別れでもあったのです……。

二部 16時15分～19時(受付15時45分)

舞囃子 唐船(とうせん)

出演/大槻文蔵(人間国宝)

あらすじ

中国出身の祖慶官人(シテ)は、日本海上での日本船とのトラブルから、箱崎の何某のもとに抑留されていた。そこへ、故郷に遺した二人の子が父を迎えにやって来た。ところが、祖慶官人は日本の地で新たに子を二人儲けていたのであった。中国の子たちに再会した祖慶官人は故郷へ帰ろうとし、日本で生まれた子たちも連れてゆくこととするが、何某は「日本の子には跡を継がせなければならぬ」と、日本の子たちの乗船を制止する。祖慶官人は中国の子と日本の子の間で板挟みになり、思いあまって身を投げようとする。それを見た何某は遂に折れ、日本の子たちの乗船を許可する。祖慶官人は、四人の子とともに故郷へ帰ることの喜びに浸りながら、船中で舞を舞うのであった。(鏡仙会HP)

狂言 蚊相撲(かずもう)

出演/野村萬斎 高野和憲ほか

あらすじ

大名が新しい召使を抱えようと、太郎冠者に探しに行かせる。そこへ、都に上り人の血を吸うため、人間の姿になった江州守山の蚊の精が通りかかり、正体に気づかない太郎冠者は蚊の精を連れ帰る。新しい召使は相撲が得意と聞き、

喜んだ大名は早速取らせて見たいと思うが、相手がいないのでやむなく自身で相手をする。蚊に刺されて目を回してしまふ。蚊の正体に気づいた大名は、勝つためにあるものを持ち出すのだが……。

人間である大名と蚊の精が相撲をとるといふ、何とも奇想天外な作品です。大らかな大名と、蚊の特徴がデフォルメされた蚊の精の動きにご注目下さい。

能 三山(みつやま)

出演/シテ 観世鏡之丞ほか

あらすじ

念仏の教を弘めるべく、大和を訪れた良忍上人(ワキ)。彼が名所・大和三山のひとつ耳成山に向かうと、一人の女(前シテ)が現れる。聞けば、この大和三山には、ある昔物語が伝わっていた。それは、耳成の里の女・桂子と、畝傍の里の女・桜子とが、香具山の男を巡って争い、恋に敗れた桂子は耳成池に入水したというもの。そう明かした女は、自分こそその桂子の霊だと明かすと、耳成池の水底へ姿を消すのだった。
その夜、良忍が三山の故事を偲んでいると、桜子の霊(ツレ)が現れる。耳成の山風に吹き揉まれ、苦しんでいると訴える桜子。するとそこへ、例の桂子の幽霊(後シテ)が姿を現した。恨みの言葉を述べつつ、桂の枝で桜子を打ち据える桂子。しかし桜子もまた、負けじと桜の枝で対抗する。そうする内に夜は明け、二人は消えてゆくのだった。(鏡仙会HP)

2023年 5月4日(木・祝)

開演16:15(受付15:45)

加西市民会館 文化ホール

加西市民会館 加西市北条町古坂1-1
☎0790-43-0160
受付9:00~22:00
加西市民会館 検索

3月1日(水)チケット販売開始

全席指定席・先着順

前売券 一般3,500円 高校生以下500円(税込)

当日券は一般のみ500円増

※4歳未満は無料(席なし)。席が必要な場合はチケットが必要です。

チケット販売所

- ・加西市民会館 0790-43-0160
- ・地域交流センター(アスティアかさい3階) 0790-42-0106
- ・イオン加西北条店(サービスカウンター) 0790-45-3500
- ・西村書店 0790-42-5008
- ・ローソンチケット(Lコード:53585) <https://l-tike.com>
- ・チケットぴあ(Pコード:517-326) <https://t.pia.jp>